

# 低廉な検温装置の実現可能性検証

～ 入構者を顔で自動検知し、高温の方にお知らせします ～

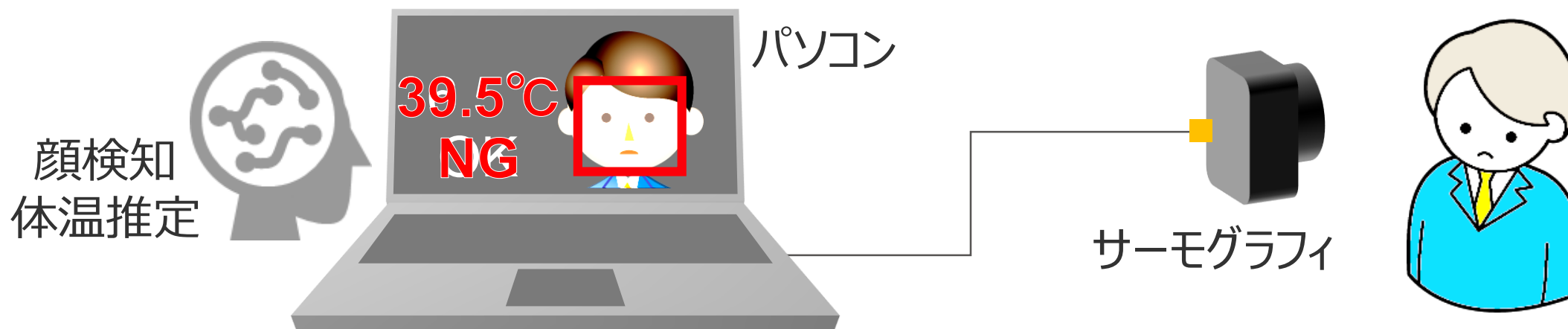
技術開発本部  
技術企画室 企画グループ 林

# 1. 研究の背景・目的

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々な対策技術が市場に投入されている
  - 例えば、サーモグラフィとAIを活用して、入構者の体温を安全かつ簡易に測定し、発熱者を発見する検温システムがある
  - しかし、市販のシステムは高価であるため、複数箇所への導入には、低廉化が求められる
- ➡ アプリの内製化による検温システムの低廉化の実現可能性を検証している

## 2. アプリの動作イメージ

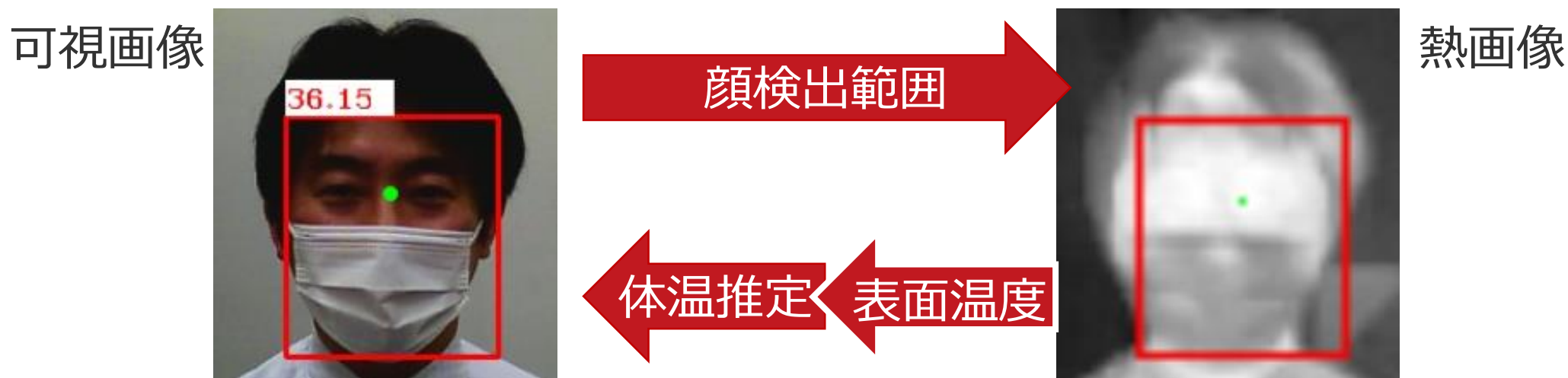
- サーモグラフィから可視画像と熱画像を取得
- 可視画像に映る顔を自動検出（入構者を検知）
- 熱画像から得られる顔の表面温度から体温を推定
- 推定体温が高温の方にはお知らせ



**注意）** 本システムは医療機器ではないため、医療・診察には利用できません。

### 3. 低廉化の工夫 = 公開情報を活用したアプリ製作

- 可視画像や熱画像の取り込み  
サーモグラフィメーカーが公開しているSDKを活用
- 顔検知  
無償公開されているアルゴリズムを活用



注意) 本システムは医療機器ではないため、医療・診察には利用できません。

